

製品名: PTK7 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80871

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	118kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK7
別名	CCK4; PTK7
遺伝子 ID	5754.0
SwissProt ID	Q13308
免疫原	大腸菌で発現したヒト PTK7 の精製された組み換え断片。

背景

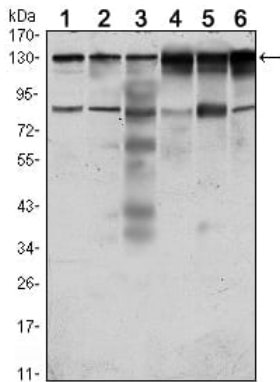
受容体タンパク質チロシンキナーゼは、細胞膜を介して細胞外シグナルを伝達します。これらのキナーゼのサブグループは、検出可能な触媒チロシンキナーゼ活性を欠いていますが、シグナル伝達において役割を保持しています。この遺伝子によってコードされる

タンパク質は、チロシンキナーゼのこのサブグループのメンバーであり、細胞接着分子として機能する可能性があります。この遺伝子は、大腸癌で発現し、正常大腸では発現しないと考えられているため、腫瘍の進行のマーカーであるか、または腫瘍の進行に関与している可能性があります。この遺伝子には、4つの異なるアイソフォームをコードする4つの転写バリエーションが見つっています。組織特異性: 肺、肝臓、膵臓、腎臓、胎盤、メラノサイトで高度に発現しています。甲状腺、卵巣、脳、心臓、骨格筋では弱い発現が見られます。赤白血病細胞でも発現しています。しかし、大腸では発現していません。

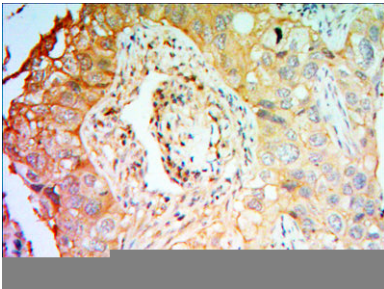
研究分野

Wnt シグナル伝達経路

画像データ



PTK7 マウス mAb を用いた Hela (1)、A431 (2)、HCT116 (3)、Caco2 (4)、HepG2 (5)、MCF-7 (6) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



PTK7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。